

ウイルポートと提携

資本業務で 生鮮流通の基盤構築

イーサポートリンク

生鮮食品流通のソリューション事業を展開しているイーサポートリンクは11日、ウイルポート（藤原康則社長、東京都中央区）と資本業務提携を締結した、と発表した。生鮮食品流通の新しいプラットフォームを構築し、消費者の生活を

弾みに大型生産者、農業協同組合、地域物流、小売り、生活者を結び付けるビジネスに乗り出す。

イーサポートリンクは「全ては生産者と生活者のために」を経営理念に掲げ、情報システムを駆使して生鮮食品流通の高度化を推

進。これまで培ってきたノウハウやサービスと、ウイルポートが強みとする地域密着型の物流サービスを融合させ、人手不足やライフスタイルの変化など社会環境の移り変わりに即した事業モデルを創造する。

宅配事業などを通じて地域の生産者と生活者の要請や期待に応えるとともに、見守りサービスといった高

齢化社会の課題解決にも取り組む。事業モデルは順次水平展開していく構想で、必要に応じて全国の物流会社とパートナーシップを築く。その際は今回と同様に

資本も基本的に投入する方針だ。柴田好久・取締役常務執行役員流通インフラサービス事業部長は「これまで大手量販店に流通サービスを

提供してきたが、今後はモノがちゃんと届くところまでカバーする。物流の領域には初めて足を踏み入れることになる」とコメントしている。（沢田顕嗣）